

# The 1st FIT—ME Symposium

## 知能機械工学専攻 大西 航助さん 優秀ポスター賞を受賞。



知能機械工学専攻修士課程 2 年  
朱 研究室  
大西 航助さん (都城泉ヶ丘高出身)

5月16日(月)に福岡工業大学において、開催された国際シンポジウム「The 1st FIT—ME Symposium」で本学の知能機械工学専攻修士課程2年 朱研究室の大西航助さんが優秀ポスター賞を受賞しました。

このシンポジウムは今回が第1回目、Josef Breu 教授 (Bayreuth Univ.)、小川誠教授(VISTEC)、原口和敏教授、Tsung-Yen TSAI 教授(FJIRSM)をはじめとする層状物質関連の著名な研究者や、FIT-MEプロジェクトに関連する材料化学、分析化学、ロボティクス、情報処理技術等の研究者による国際シンポジウムです。

ポスター発表会における大西 航助さんの研究テーマは「強化型エラストマーアクチュエータの電気—力学挙動」。

誘電性エラストマーというゴム状の物質に電圧を加えることで、エラストマーは変形したり、

伸び縮みしたりしますが、さらに、このエラストマーにナイロン繊維を加えて、一定方向へ変形させたり、より大きな変化をさせたりする研究だそうです。

大西さんのこの研究の目的は、医療用リハビリ技術、つまり人工筋肉への利用を狙っているとのこと。例えば、腕の不自由な方が人工筋肉を装着することで、少しの力で簡単にモノを動かしたりすることができ、力の弱い女性でも、人工筋力スーツを着れば、色々な楽しいチャレンジができる—そんな面白そうな未来の話で大西さんは笑顔で語ってくれました。

また、このエストラマーは変形させることで、発電ができるという特徴もあり、違った視点で多彩な分野の研究が行われているそうです。

この国際シンポジウムに参加することで、分野の違う方とも意見交換もでき、大西さんの視野が大きく広がったそうです。



この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-068  
6月22日～7月6日